

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2027年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書 (全体版)

第18期 (決算日 2022年3月22日)

第19期 (決算日 2022年6月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第19期の決算を行ないました。

ここに、第18期、第19期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第10期末(2020年3月23日)	6,476	60	△38.6	6,793	△39.1	6,648	△42.8	98.9	1,251
第11期末(2020年6月22日)	9,035	60	40.4	9,545	40.5	9,395	41.3	99.0	1,799
第12期末(2020年9月23日)	9,632	60	7.3	10,018	5.0	10,316	9.8	99.0	1,938
第13期末(2020年12月21日)	10,878	60	13.6	11,820	18.0	11,838	14.7	99.0	2,122
第14期末(2021年3月22日)	10,911	60	0.9	12,834	8.6	12,131	2.5	99.0	2,136
第15期末(2021年6月21日)	11,868	60	9.3	13,872	8.1	13,485	11.2	99.0	2,151
第16期末(2021年9月21日)	12,289	60	4.1	13,721	△1.1	14,219	5.4	99.1	2,159
第17期末(2021年12月20日)	12,910	60	5.5	13,764	0.3	15,288	7.5	99.0	2,151
第18期末(2022年3月22日)	13,105	60	2.0	14,898	8.2	15,315	0.2	99.1	2,133
第19期末(2022年6月20日)	12,028	60	△7.8	14,522	△2.5	13,281	△13.3	99.0	2,006

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基準価額		S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第18期	(期首) 2021年12月20日	円 12,910	% -	13,764	% -	15,288	% -	% 99.0
	12月末	13,185	2.1	14,236	3.4	15,585	1.9	99.1
	2022年1月末	11,603	△10.1	12,834	△6.8	13,461	△12.0	99.0
	2月末	12,065	△6.5	13,464	△2.2	14,059	△8.0	99.0
	(期末) 2022年3月22日	13,165	2.0	14,898	8.2	15,315	0.2	99.1
第19期	(期首) 2022年3月22日	13,105	-	14,898	-	15,315	-	99.1
	3月末	13,841	5.6	16,092	8.0	16,242	6.1	99.0
	4月末	13,730	4.8	15,624	4.9	16,033	4.7	99.0
	5月末	12,827	△2.1	15,402	3.4	14,656	△4.3	99.0
	(期末) 2022年6月20日	12,088	△7.8	14,522	△2.5	13,281	△13.3	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第18期首：12,910円

第19期末：12,028円 (既払分配金120円)

騰落率：△5.9% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が下落したことがマイナスに働き、基準価額は下落しました。金利上昇などを背景に、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は軟調な推移となりました。為替については、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したことが、基準価額にプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2022年1月上旬にかけては、新型コロナウイルスの変異株への懸念が後退したことや、好調な業績動向などが好感されたことなどから、上昇傾向となりました。その後1月下旬にかけては、高まるインフレ圧力を背景に金利は上昇傾向となり、投資家のリスク回避姿勢が強まり、リートを含む株式市場全般が下落傾向となりました。2月から4月にかけては、世界的な投資家心理の改善や堅調な業績動向への期待感などから、緩やかな上昇傾向となりました。5月から当作成期末にかけては、金利上昇や中央銀行の金融引き締め姿勢などから、下落しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

当作成期首から2022年2月にかけては、オーストラリア・ドルは、投資家心理の悪化や改善などを受けて上下する局面もありましたが、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。3月から4月半ばにかけては、米国の金利上昇を受けて日米金利差に注目が集まり、円は主要通貨に対して下落し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。4月半ばから5月末にかけては、景気に対する先行き懸念などから、オーストラリア・ドルは対円で下落（円高）傾向となりました。その後当作成期末にかけては、日米金利差に再度注目が集まり、円は主要通貨に対して下落し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

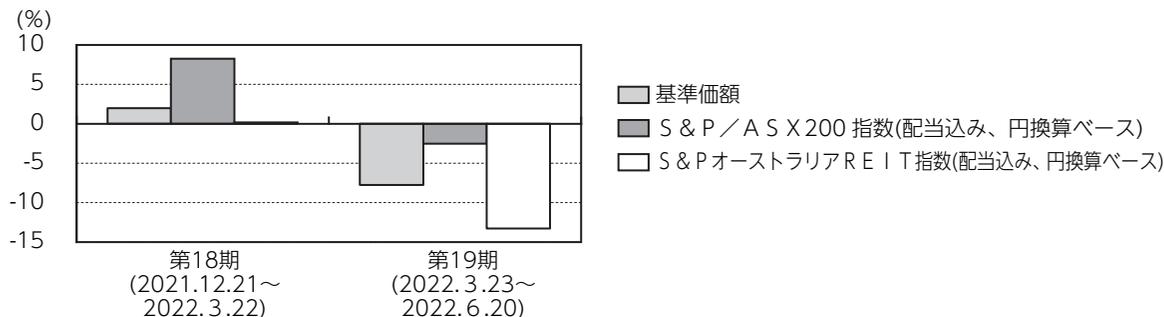
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第18期は60円、第19期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第18期	第19期
	2021年12月21日 ~2022年3月22日	2022年3月23日 ~2022年6月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60
対基準価額比率（%）	0.46	0.50
当期の収益（円）	60	60
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	3,456	3,692

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	83.33円	290.91円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	201.06	0.00
(c) 収益調整金	631.66	922.34
(d) 分配準備積立金	2,600.17	2,539.04
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,516.22	3,752.29
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,456.22	3,692.29

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

1 万口当りの費用の明細

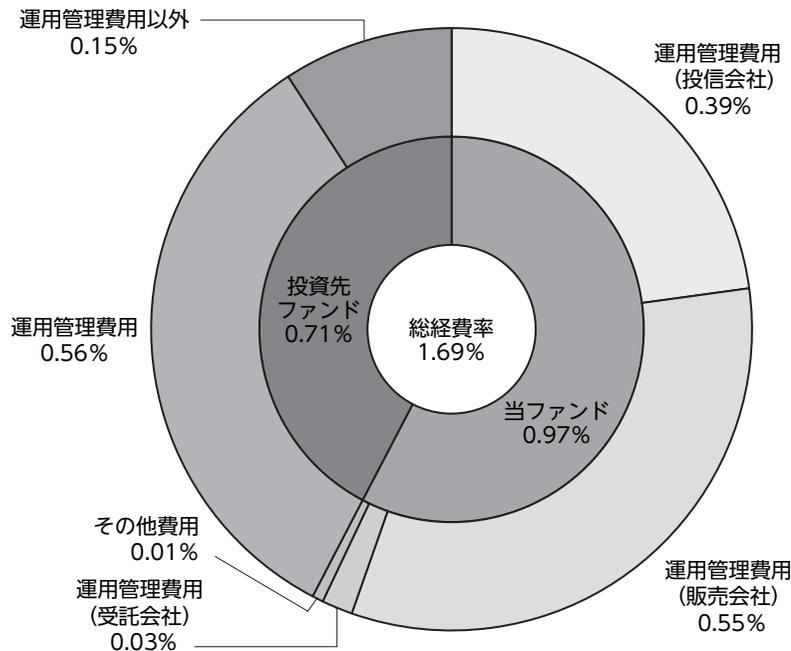
項 目	第18期～第19期		項 目 の 概 要
	(2021年12月21日～2022年6月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	62円	0.479%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は12,973円です。
（投信会社）	(25)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	63	0.485	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率 (①+②+③)	1.69%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年12月21日から2022年6月20日まで)

国	決算期	第18期～第19期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)		246,846.094	299,000	211,417.094	253,000
国内 ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)		-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第19期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	1,804,550.905	1,984,825	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,095	
合計	金 額 1,805,654.015	1,985,921	<比率> 2銘柄 <99.0%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年6月20日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,985,921	97.8
コール・ローン等、その他	44,910	2.2
投資信託財産総額	2,030,832	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年3月22日)、(2022年6月20日)現在

項目	第18期末	第19期末
(A) 資産	2,149,882,191円	2,030,832,038円
コール・ローン等	32,708,296	26,910,669
投資信託受益証券(評価額)	2,114,173,895	1,985,921,369
未収入金	3,000,000	18,000,000
(B) 負債	16,242,672	24,615,320
未払収益分配金	9,768,561	10,007,590
未払解約金	1,432,489	9,244,745
未払信託報酬	4,984,703	5,302,429
その他未払費用	56,919	60,556
(C) 純資産総額(A-B)	2,133,639,519	2,006,216,718
元本	1,628,093,538	1,667,931,691
次期繰越損益金	505,545,981	338,285,027
(D) 受益権総口数	1,628,093,538口	1,667,931,691口
1万円当り基準価額(C/D)	13,105円	12,028円

(注) 元本状況
期首元本額 1,666,760,613円 1,628,093,538円
追加設定元本額 100,630,243円 176,567,318円
一部解約元本額 139,297,318円 136,729,165円

■損益の状況

第18期 自 2021年12月21日 至 2022年3月22日

第19期 自 2022年3月23日 至 2022年6月20日

項目	第18期	第19期
(A) 配当等収益	15,042,540円	53,884,221円
受取配当金	15,046,086	53,888,389
受取利息	60	66
支払利息	△ 3,606	△ 4,234
(B) 有価証券売買損益	36,299,351	△ 227,737,425
売買益	41,075,119	6,129,769
売買損	△ 4,775,768	△ 233,867,194
(C) 信託報酬等	△ 5,041,622	△ 5,362,985
(D) 当期損益金(A+B+C)	46,300,269	△ 179,216,189
(E) 前期繰越損益金	423,331,970	423,495,223
(F) 追加信託差損益金	45,682,303	104,013,583
(配当等相当額)	(102,840,969)	(153,840,576)
(売買損益相当額)	(△ 57,158,666)	(△ 49,826,993)
(G) 合計(D+E+F)	515,314,542	348,292,617
(H) 収益分配金	△ 9,768,561	△ 10,007,590
次期繰越損益金(G+H)	505,545,981	338,285,027
追加信託差損益金	45,682,303	104,013,583
(配当等相当額)	(102,840,969)	(153,840,576)
(売買損益相当額)	(△ 57,158,666)	(△ 49,826,993)
分配準備積立金	459,863,678	462,008,869
繰越損益金	-	△ 227,737,425

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 18 期	第 19 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,565,345円	48,521,236円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	32,734,924円	0円
(c) 収益調整金	102,840,969円	153,840,576円
(d) 分配準備積立金	423,331,970円	423,495,223円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	572,473,208円	625,857,035円
(f) 1万口当り当期分配対象額	3,516.22円	3,752.29円
(g) 分配金	9,768,561円	10,007,590円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 18 期	第 19 期
1万口当り分配金（税引前）	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・ 受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

○信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2022年9月20日から2027年9月20日に変更しました。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第18期 (決算日 2022年2月15日)

第19期 (決算日 2022年5月16日)

(作成対象期間 2021年11月16日～2022年5月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限 (設定日：2017年8月3日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場 (上場予定を含みます。) または店頭登録 (登録予定を含みます。) の株式 (DR (預託証券) を含みます。) ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落 率	(参考指数)	期 騰落 率	(参考指数)	期 騰落 率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
10期末 (2020年 2月17日)	10,893	140	7.4	11,583	6.0	12,808	7.5	18.9	-	79.5	2,116
11期末 (2020年 5月15日)	7,541	90	△29.9	8,258	△28.7	8,010	△37.5	21.0	-	77.4	1,493
12期末 (2020年 8月17日)	9,023	70	20.6	10,494	27.1	10,158	26.8	18.0	-	80.3	1,804
13期末 (2020年11月16日)	10,223	100	14.4	11,054	5.3	11,555	13.8	19.9	-	79.3	2,044
14期末 (2021年 2月15日)	10,358	230	3.6	12,590	13.9	12,095	4.7	17.8	-	81.0	1,990
15期末 (2021年 5月17日)	10,783	500	8.9	13,703	8.8	13,304	10.0	18.4	-	80.7	2,156
16期末 (2021年 8月16日)	11,053	90	3.3	14,178	3.5	13,976	5.0	18.2	-	80.3	2,078
17期末 (2021年11月15日)	11,828	110	8.0	14,583	2.9	15,256	9.2	17.0	-	82.4	2,102
18期末 (2022年 2月15日)	11,204	90	△ 4.5	14,022	△ 3.8	14,476	△ 5.1	15.4	-	81.1	1,918
19期末 (2022年 5月16日)	11,435	310	4.8	15,231	8.6	14,823	2.4	16.9	-	80.3	2,030

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第18期首：11,828円

第19期末：11,435円（既払分配金400円）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

基準価額はおおむね横ばいでの推移となりました。オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が下落したことが基準価額にマイナスに働きました。金利上昇などを背景に、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は軟調な推移となりました。一方為替については、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことが、基準価額にプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率
第18期	(期首)2021年11月15日	円 11,828	% -	14,583	% -	15,256	% -	17.0	% -	82.4
	11月末	11,569	△ 2.2	13,815	△ 5.3	15,001	△ 1.7	16.2	-	82.7
	12月末	12,577	6.3	14,710	0.9	16,407	7.5	15.5	-	83.6
	2022年1月末	10,914	△ 7.7	13,270	△ 9.0	14,083	△ 7.7	15.8	-	82.5
	(期末)2022年2月15日	11,294	△ 4.5	14,022	△ 3.8	14,476	△ 5.1	15.4	-	81.1
第19期	(期首)2022年2月15日	11,204	-	14,022	-	14,476	-	15.4	-	81.1
	2月末	11,388	1.6	13,772	△ 1.8	14,760	2.0	15.3	-	81.0
	3月末	13,044	16.4	16,493	17.6	16,904	16.8	15.8	-	80.5
	4月末	12,954	15.6	15,887	13.3	16,667	15.1	16.1	-	81.0
	(期末)2022年5月16日	11,745	4.8	15,231	8.6	14,823	2.4	16.9	-	80.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.11.16～2022.5.16)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は下落しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、11月末に新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり下落する局面もありましたが、その後12月末にかけては、変異株への懸念が後退したことや好調な業績動向などが好感されたことなどから、上昇傾向となりました。2022年1月には、高まるインフレ圧力を背景に金利は上昇傾向となり、投資家のリスク回避姿勢が強まり、リートを含む株式市場全般が下落傾向となりました。2月から4月にかけては、世界的な投資家心理の改善や堅調な業績動向への期待感などから、緩やかな上昇傾向となりました。5月初めから当作成期末にかけては、金利上昇や中央銀行の金融引き締め姿勢などから、下落しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

オーストラリア・ドル為替相場は、当作成期首から2022年2月にかけて、投資家心理の改善や悪化などを受けて上下する局面もありましたが、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。3月から4月半ばにかけては、米国の金利上昇を受けて日米金利差に再度注目が集まり、円は主要通貨に対して下落し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。4月半ばから当作成期末にかけては、景気に対する先行き懸念などから、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2021.11.16～2022.5.16)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

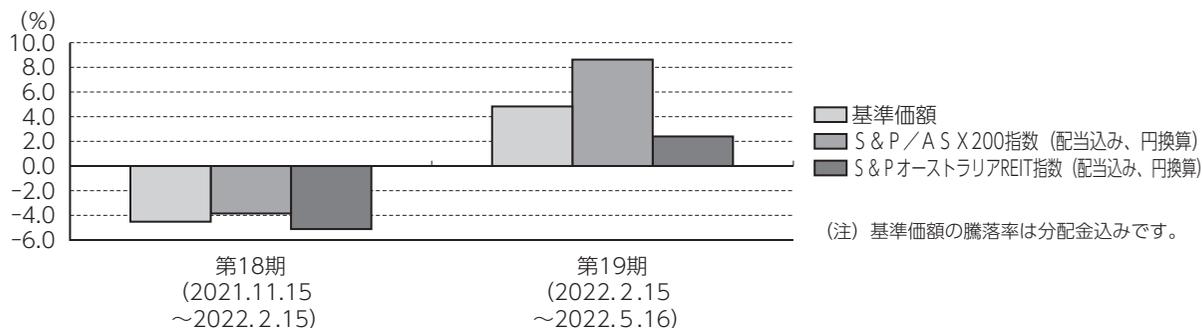
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、ショッピングモールやオフィスを保有する総合リートでマンションなどの都市型住宅の開発に強みを持つMIRVAC GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
	2021年11月16日 ～2022年2月15日	2022年2月16日 ～2022年5月16日
当期分配金（税込み）（円）	90	310
対基準価額比率（%）	0.80	2.64
当期の収益（円）	70	100
当期の収益以外（円）	20	210
翌期繰越分配対象額（円）	1,956	1,756

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 82.04円	✓ 106.88円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	306.43	447.69
(d) 分配準備積立金	✓ 1,658.34	✓ 1,512.25
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,046.82	2,066.83
(f) 分配金	90.00	310.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,956.82	1,756.83

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第19期 (2021.11.16～2022.5.16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.282%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,057円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.037	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(4)	(0.030)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	9	0.078	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.045)	配当金再投資にかかる税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	48	0.397	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2021年11月16日から2022年5月16日まで)

決算期	第18期～第19期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	143,076	255,387	210,164	364,701

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年11月16日から2022年5月16日まで)

項目	第18期～第19期	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	57,879千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	336,954千円	
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.17	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第17期末		第19期末	
	□数	金額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,224,569	1,157,480	1,991,214	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年5月16日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,991,214	95.4
コール・ローン等、その他	97,079	4.6
投資信託財産総額	2,088,294	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月16日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=90.03円、1ニュージーランド・ドル=81.54円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第19期末における外貨建純資産(2,002,189千円)の投資信託財産総額(2,010,953千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月15日)、(2022年5月16日)現在

項目	第18期末	第19期末
(A) 資産	1,936,415,503円	2,088,294,079円
コール・ローン等	21,959,297	97,079,880
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	1,914,456,206	1,991,214,199
(B) 負債	18,395,996	58,108,959
未払収益分配金	15,406,782	55,038,590
未払信託報酬	2,960,524	3,012,480
その他未払費用	28,690	57,889
(C) 純資産総額(A-B)	1,918,019,507	2,030,185,120
元本	1,711,864,745	1,775,438,401
次期繰越損益金	206,154,762	254,746,719
(D) 受益権総口数	1,711,864,745口	1,775,438,401口
1万口当り基準価額(C/D)	11,204円	11,435円

* 当作成期首における元本額は1,777,781,301円、当作成期間(第18期～第19期)中における追加設定元本額は215,227,559円、同解約元本額は217,570,459円です。

* 第19期末の計算口数当りの純資産額は11,435円です。

■損益の状況

第18期 自2021年11月16日 至2022年2月15日
 第19期 自2022年2月16日 至2022年5月16日

項 目	第 18 期	第 19 期
(A) 配当等収益	△ 342円	△ 127円
受取利息	14	1
支払利息	△ 356	△ 128
(B) 有価証券売買損益	△ 87,518,359	80,625,835
売買益	3,717,631	90,192,087
売買損	△ 91,235,990	△ 9,566,252
(C) 信託報酬等	△ 2,989,214	△ 3,041,679
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	△ 90,507,915	77,584,029
(E) 前期繰越損益金	283,886,680	169,131,999
(F) 追加信託差損益金	28,182,779	63,069,281
(配当等相当額)	(52,457,086)	(79,485,001)
(売買損益相当額)	(△ 24,274,307)	(△ 16,415,720)
(G) 合計(D+E+F)	221,561,544	309,785,309
(H) 収益分配金	△ 15,406,782	△ 55,038,590
次期繰越損益金(G+H)	206,154,762	254,746,719
追加信託差損益金	28,182,779	63,069,281
(配当等相当額)	(52,457,086)	(79,485,001)
(売買損益相当額)	(△ 24,274,307)	(△ 16,415,720)
分配準備積立金	282,525,666	232,430,700
繰越損益金	△104,553,683	△ 40,753,262

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 18 期	第 19 期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,045,768円	18,976,858円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	52,457,086	79,485,001
(d) 分配準備積立金	283,886,680	268,492,432
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	350,389,534	366,954,291
(f) 分配金	15,406,782	55,038,590
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	334,982,752	311,915,701
(h) 受益権総口数	1,711,864,745口	1,775,438,401口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 18 期	第 19 期
1万口当り分配金（税込み）	90円	310円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2022年2月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第19期の決算日（2022年5月16日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2021年11月16日から2022年5月16日まで)

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	千株 45	千円 32,505	円 722	GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	千株 60	千円 13,538	円 225
				CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	20	11,835	591

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年11月16日から2022年5月16日まで)

買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)	千口 95	千円 26,486	円 278	CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	千口 23	千円 38,227	円 1,662
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	79	22,423	283	AVENTUS GROUP (オーストラリア)	65	18,503	284
HOMECO DAILY NEEDS REIT (オーストラリア)	160	21,407	133	APA GROUP (オーストラリア)	22	18,168	825
MIRVAC GROUP (オーストラリア)	50	11,512	230	ARENA REIT (オーストラリア)	42	16,634	396
VICINITY CENTRES (オーストラリア)	60	10,370	172	TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	11	13,658	1,241
HOME CONSORTIUM (オーストラリア)	15	9,605	640	GOODMAN GROUP (オーストラリア)	6.3	13,471	2,138
				RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	50	12,962	259
				INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)	35	12,182	348
				STOCKLAND (オーストラリア)	30	9,746	324
				MIRVAC GROUP (オーストラリア)	30	6,442	214

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2022年5月16日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（1,168,850千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	株数	2022年5月16日現在		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千オーストラリア・ドル	千円	
AGL ENERGY LTD	450	378	34,031	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,547.28	1,059	95,421	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,997.28 2銘柄	1,437 <6.4%>	
(ニュージーランド)	百株	千ニュージーランド・ドル	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,250	558	45,560	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	163	13,360	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	1,114.31	297	24,259	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	80	6,573	公益事業
INFRATIL LTD	620	480	39,179	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,460	1,080	88,095	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,850.31 6銘柄	2,661 <10.8%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	6,847.59 8銘柄	346,483 <17.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2022年5月16日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	口数	2022年5月16日現在	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千オーストラリア・ドル	千円
DEXUS/AU	107	1,141	102,786
HOME CONSORTIUM LTD	18.373	102	9,229
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	132.476	462	41,624
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	115	10,369
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	30.517	104	9,451
RURAL FUNDS GROUP	111.353	326	29,373
WAYPOINT REIT	29.831	73	6,633
CHARTER HALL LONG WALE REIT	101.882	494	44,486
CENTURIA OFFICE REIT	67.679	137	12,369
CENTURIA CAPITAL GROUP	189.218	438	39,521
HOMECO DAILY NEEDS REIT	355.289	470	42,382
TRANSURBAN GROUP	137.413	1,912	172,208
APA GROUP	106.847	1,199	108,026
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	213.996	633	57,027
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	32.919	125	11,291
NATIONAL STORAGE REIT	252.381	583	52,487
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	118	10,625
SCENTRE GROUP	417	1,180	106,245
ARENA REIT	221.754	938	84,449
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	112.88	387	34,857
GPT GROUP	175.7	827	74,504
CHARTER HALL RETAIL REIT	32.557	137	12,339
MIRVAC GROUP	455	1,005	90,529
STOCKLAND	252.055	988	88,954
ABACUS PROPERTY GROUP	150	445	40,108
GOODMAN GROUP	95.3	1,874	168,765
VICINITY CENTRES	213	391	35,284
CHARTER HALL GROUP	107	1,412	127,158
INGENIA COMMUNITIES GROUP	40.658	163	14,751
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,340.502 29銘柄	18,192 <81.5%>
(ニュージーランド)	千口	千ニュージーランド・ドル	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58	4,760
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	44	3,630
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	102 <0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,420.474 31銘柄	1,646.235 <81.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、2022年5月16日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2022年2月3日）

（作成対象期間 2021年8月4日～2022年2月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

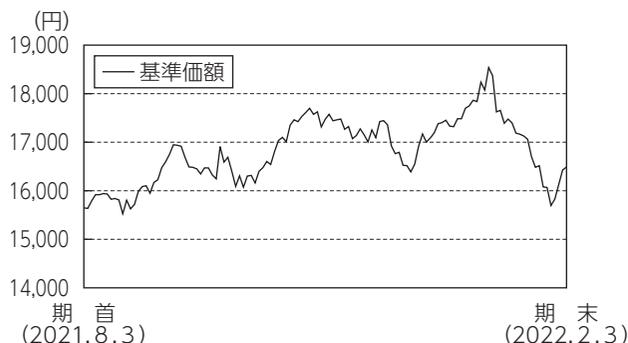
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、円換算)		株組入比率	株先物比率	投資信託証券入比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %			
(期首)2021年8月3日	15,648	-	17,395	-	14,412	-	18.3	-	80.7
8月末	16,226	3.7	17,436	0.2	14,987	4.0	18.0	-	79.7
9月末	16,091	2.8	16,925	△2.7	14,743	2.3	17.4	-	80.6
10月末	17,626	12.6	18,592	6.9	16,407	13.8	17.0	-	82.2
11月末	16,764	7.1	17,272	△0.7	15,680	8.8	16.3	-	82.8
12月末	18,237	16.5	18,392	5.7	17,149	19.0	15.6	-	83.7
2022年1月末	15,829	1.2	16,591	△4.6	14,720	2.1	15.8	-	82.6
(期末)2022年2月3日	16,489	5.4	16,967	△2.5	15,285	6.1	16.0	-	82.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,648円 期末：16,489円 騰落率：5.4%

【基準価額の主な変動要因】

新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、経済正常化への期待感が高まり、当ファンドの主要投資対象であるオーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇し、基準価額は上昇しました。為替についても、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄は上昇しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2021年8月末にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展して

いることやおおむね堅調な決算発表が好感される形で、上昇傾向となりました。9月から10月前半にかけては、長期金利の上昇などを受けて軟調な展開となりましたが、10月後半から11月後半にかけては、ワクチン接種の進展などを背景に行動規制が緩和されて業績改善への期待感などが広がり、上昇しました。11月末から12月初めにかけては、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり下落しましたが、その後12月末にかけては、変異株への懸念が後退したことや好調な業績動向などが好感されたことなどから、上昇しました。2022年1月から当作成期末にかけては、高まるインフレ圧力を背景に金利が上昇傾向となって投資家のリスク回避姿勢が強まり、リートを含む株式市場全般が下落傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年9月にかけてのオーストラリア・ドルは、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。10月は、物価の上

昇などを背景に各国中央銀行が金融政策の調整に動き出す中、日本と主要先進国との金融政策の方向性の違いに注目が集まり、円は主要通貨に対して下落しました。オーストラリア・ドルは資源国通貨としてコモディティ価格の上昇がポジティブに働きやすいこともあり、対円で上昇しました。11月は、鉄鉱石価格が下落傾向となったことに加え、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、対円で下落（円高）しました。12月は、鉄鉱石価格が反発したことや投資家心理の改善などを背景に、対円で上昇傾向となりました。2022年1月から当作成期末にかけては、世界的な投資家心理の悪化などを背景に、対円で下落傾向となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リート のCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	8円
(株式)	(1)
(投資信託証券)	(7)
有価証券取引税	—
その他費用	12
(保管費用)	(4)
(その他)	(8)
合計	20

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		(—)	(—)	600	394
国	ニュージーランド	百株	千ニュージーランド・ドル	百株	千ニュージーランド・ドル
		(—)	(—)	1,060.41	414

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		210	934	520.3	3,157
国	オーストラリア	(63.064)	(381)	(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		60	32,432	540
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		86.041	19,926	231
					CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)		20	11,835	591

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
STOCKLAND (オーストラリア)		80	29,940	374	CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)		37	59,030	1,595
CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)		95	26,486	278	ARENA REIT (オーストラリア)		137	50,220	366
INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)		20	10,363	518	GOODMAN GROUP (オーストラリア)		15.3	30,403	1,987
HOME CONSORTIUM (オーストラリア)		15	9,605	640	AVENTUS GROUP (オーストラリア)		65	18,503	284
					APA GROUP (オーストラリア)		20	15,310	765
					CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR (オーストラリア)		40	12,919	322
					GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)		32	11,547	360
					MIRVAC GROUP (オーストラリア)		44	10,494	238
					SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)		15	10,236	682
					DEXUS/AU (オーストラリア)		12	10,030	835

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	799.65	799.65	207	16,934	公益事業
ATLAS ARTERIA	2,147.28	1,547.28	1,050	85,571	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 2,946.93 2銘柄	株数、金額 2,346.93 2銘柄	1,258	102,505 < 5.2% >	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,250	1,250	575	43,573	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	290	162	12,328	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	1,974.72	1,114.31	317	24,066	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	116	81	6,179	公益事業
INFRATIL LTD	620	620	485	36,788	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,660	1,460	1,176	89,174	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 5,910.72 6銘柄	株数、金額 4,850.31 6銘柄	2,799	212,110 < 10.8% >	
ファンド合計	株数、金額 8,857.65 8銘柄	株数、金額 7,197.24 8銘柄	-	314,616 < 16.0% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
DEXUS/AU	119	107	1,097	89,417
HOME CONSORTIUM LTD	-	15	98	8,002
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	167,668	131,032	517	42,156
CROMWELL PROPERTY GROUP	143,076	143,076	121	9,905
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	60,517	30,517	119	9,768
AVENTUS GROUP	153,768	88,768	291	23,714
RURAL FUNDS GROUP	186,048	159,681	479	39,018
WAYPOINT REIT	31,797	29,831	82	6,730
CHARTER HALL LONG WALE REIT	95,91	98,906	484	39,473
CENTURIA OFFICE REIT	66,445	66,445	148	12,122
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD/CDI	13	-	-	-
CENTURIA CAPITAL GROUP	91	186	569	46,358
TRANSURBAN GROUP	133,572	148,413	1,902	154,971
SYDNEY AIRPORT	44	29	252	20,549
APA GROUP	138,847	118,847	1,180	96,123
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	0,866	-	-	-
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	203,153	213,996	609	49,675
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	64,919	32,919	130	10,644
NATIONAL STORAGE REIT	243,002	247,656	621	50,630
DEXUS INDUSTRIAL REIT STAPLED UNIT	37,348	37,348	118	9,673
SCENTRE GROUP	338	338	1,000	81,489

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
ARENA REIT	363.108	232.738	1,126	91,749
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	106.46	109.694	385	31,360
GPT GROUP	175.7	175.7	874	71,267
CHARTER HALL RETAIL REIT	30,601	31,657	129	10,520
MIRVAC GROUP	479	435	1,139	92,828
STOCKLAND	202,055	252,055	1,023	83,351
ABACUS PROPERTY GROUP	150	150	520	42,394
GOODMAN GROUP	110.6	95.3	2,262	184,274
VICINITY CENTRES	153	153	251	20,499
CHARTER HALL GROUP	151	114	1,942	158,221
INGENIA COMMUNITIES GROUP	40,244	74,889	403	32,877
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 4,293.704 31銘柄	口数、金額 4,046.468 30銘柄	19,886	1,619,771 < 82.3% >
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	67	5,116
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	52	3,994
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 79.972 2銘柄	口数、金額 79.972 2銘柄	120	9,111 < 0.5% >
合計	口数、金額 4,373.676 33銘柄	口数、金額 4,126.44 32銘柄	-	1,628,882 < 82.7% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年2月3日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 314,616	% 16.0
投資信託証券	1,628,882	82.7
コール・ローン等、その他	25,330	1.3
投資信託財産総額	1,968,829	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月3日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=81.45円、1ニュージーランド・ドル=75.78円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,967,014千円)の投資信託財産総額(1,968,829千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,968,829,511円
コール・ローン等	13,720,142
株式(評価額)	314,616,787
投資信託証券(評価額)	1,628,882,556
未収配当金	11,610,026
(B) 負債	377,248
未払解約金	60,978
その他未払費用	316,270
(C) 純資産総額(A - B)	1,968,452,263
元本	1,193,815,867
次期繰越損益金	774,636,396
(D) 受益権総口数	1,193,815,867口
1万口当り基準価額(C/D)	16,489円

* 期首における元本額は1,341,477,947円、当作成期間中における追加設定元本額は65,636,649円、同解約元本額は213,298,729円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用) 1,181,784,125円
オーストラリア・リアルアセット・ファンド 12,031,742円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,489円です。

■損益の状況

当期 自2021年8月4日 至2022年2月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	38,449,681円
受取配当金	38,451,452
受取利息	26
支払利息	△ 1,797
(B) 有価証券売買損益	84,441,844
売買益	155,110,993
売買損	△ 70,669,149
(C) その他費用	△ 1,539,050
(D) 当期損益金(A + B + C)	121,352,475
(E) 前期繰越損益金	757,691,451
(F) 解約差損益金	△147,278,434
(G) 追加信託差損益金	42,870,904
(H) 合計(D + E + F + G)	774,636,396
次期繰越損益金(H)	774,636,396

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版) 第5期

(決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2020年12月10日~2021年12月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（設定日：2017年9月19日）	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率			
1期末 (2017年12月11日)	円 9,991	円 0	% △0.1	% -	% -	百万円 0
2期末 (2018年12月10日)	9,963	0	△0.3	-	-	1
3期末 (2019年12月9日)	9,952	0	△0.1	-	-	1
4期末 (2020年12月9日)	9,943	0	△0.1	-	-	1
5期末 (2021年12月9日)	9,937	0	△0.1	-	-	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

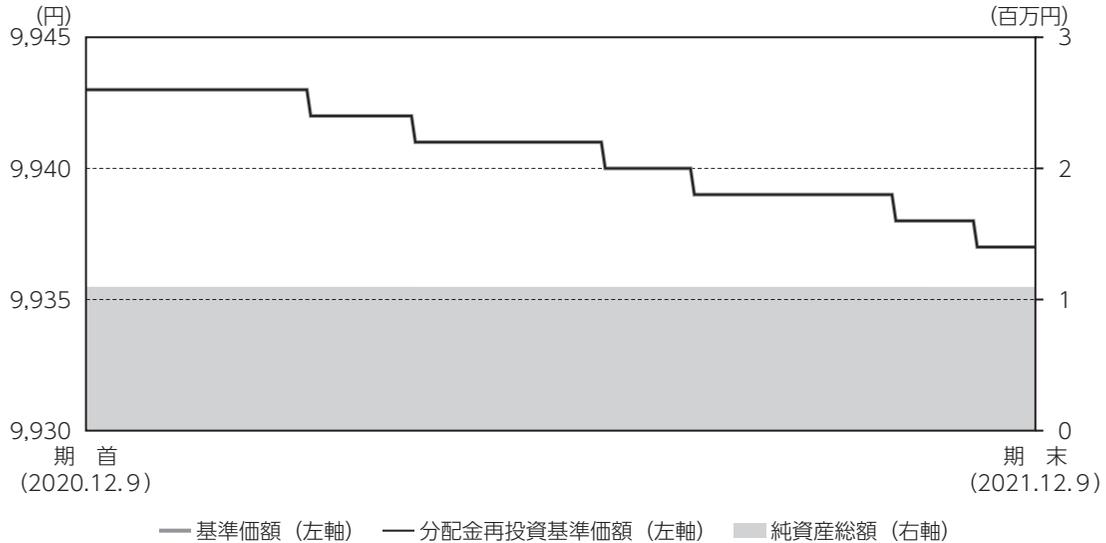
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,943円

期末：9,937円 (分配金0円)

騰落率：△0.1% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2020年12月9日	円 9,943	% -	% -	% -
12月末	9,943	0.0	-	-
2021年 1 月末	9,943	0.0	-	-
2 月末	9,943	0.0	-	-
3 月末	9,942	△0.0	-	-
4 月末	9,941	△0.0	-	-
5 月末	9,941	△0.0	-	-
6 月末	9,940	△0.0	-	-
7 月末	9,940	△0.0	-	-
8 月末	9,939	△0.0	-	-
9 月末	9,939	△0.0	-	-
10月末	9,938	△0.1	-	-
11月末	9,937	△0.1	-	-
(期末) 2021年12月9日	9,937	△0.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.12.10～2021.12.9)

■国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.10～2021.12.9)

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年12月10日 ～2021年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020.12.10~2021.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	一円	—%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,941円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.033	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	3	0.033	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 1,089	千口 1,089	千円 1,091

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 1,091	% 99.6
コール・ローン等、その他	4	0.4
投資信託財産総額	1,096	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,096,345円
コール・ローン等	4,418
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,091,927
(B) 負債	183
その他未払費用	183
(C) 純資産総額(A - B)	1,096,162
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 6,948
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C / D)	9,937円

* 期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,937円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,948円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 327円
売買損	△ 327
(B) 信託報酬等	△ 365
(C) 当期損益金(A + B)	△ 692
(D) 前期繰越損益金	△3,146
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△3,110 (△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△6,948
次期繰越損益金(F)	△6,948
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△3,110 (△3,110)
繰越損益金	△3,838

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

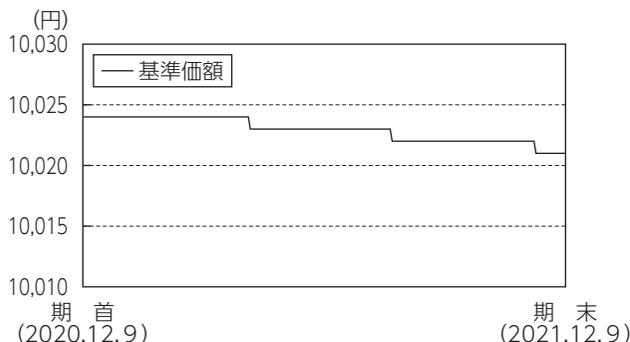
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2020年12月9日	10,024	-	-
12月末	10,024	0.0	-
2021年1月末	10,024	0.0	-
2月末	10,024	0.0	-
3月末	10,024	0.0	-
4月末	10,023	△0.0	-
5月末	10,023	△0.0	-
6月末	10,023	△0.0	-
7月末	10,023	△0.0	-
8月末	10,022	△0.0	-
9月末	10,022	△0.0	-
10月末	10,022	△0.0	-
11月末	10,021	△0.0	-
(期末)2021年12月9日	10,021	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,024円 期末：10,021円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	95,139,414 千円	100.0 %
投資信託財産総額	95,139,414	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	95,139,414,225円
コール・ローン等	95,139,414,225
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	95,139,414,225
元本	94,938,109,576
次期繰越損益金	201,304,649
(D) 受益権総口数	94,938,109,576口
1万口当り基準価額(C / D)	10,021円

* 期首における元本額は73,320,433,569円、当作成期間中における追加設定元本額は101,534,469,895円、同解約元本額は79,916,793,888円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	1,781,662,390円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,727,670,751円
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOF s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	1,135,439,591円
米国債券プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	12,595,101円
米国債券プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	504,894,014円
ダイワ/バリュー・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エグジティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	907,909,838円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,871,272,012円
ダイワユーロベア・ファンド2 (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用)	66,013,931,447円
ダイワユーロベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用)	678,845,270円
ダイワ米ドルベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用)	1,316,281,503円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	3,981,542,385円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトリアングル -	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 -	173,802円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,021円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,899,045円
受取利息	657,510
支払利息	△ 29,556,555
(B) その他費用	△ 218,657
(C) 当期損益金(A + B)	△ 29,117,702
(D) 前期繰越損益金	178,846,436
(E) 解約差損益金	△186,978,215
(F) 追加信託差損益金	238,554,130
(G) 合計(C + D + E + F)	201,304,649
次期繰越損益金(G)	201,304,649

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。